

突然の手紙で遊覧るるの事ありし、存せしむるの事ありし、
居る間は同は母堂様の数限りなき御親切も頂きませうと
申すものぞいふまじ。

先般西岡重幸様との思ひがけなきに非ずにお知れに、母

胸あがる思ひで過しませぬ、は遺族様の御嘆き如何は、と

思ひますと、この條は御言事でお慰め可なり、言事と字の

居る事と、一週同たせしませぬ、七十三才で、いかに申し候と、

また十年後何れ迄も、お思ひ候、お母は走命とは申せ、

お心なかり、いふまじ、おの文も七十三才で、いふまじ、お母は、お心

帰園致して一年余経ぬ。尤も脊推の程で立ちまじりし。百歩

四回忌の清んが所ぢふいす。四年前の悲しみを思ふ。は貴族の

皆様のはんか。おませられるたけに。辛い。胸が痛む思ふてふいす。

不平情を遙かへて。お真言お祈りするもおませられたい。

遙か日本へは。は貴族のたけに。お祈りする。お祈りす。

は母様のアパート。フロウへてたマシソソテスに居る。お祈りす。長女お生れて

お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。

お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。

お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。お祈りす。

おはよう。 明日は朝早くから。 いろいろと親戚の家に行きまわります。

お姿は昨日の洋服のままで。 今夜も福杯の上で。

合者

吉田倫子

昭和四七年二月十日

海辺中正様

岡田照子様

Sent
card 7/24/72

Mr. Nakamasa Watanabe

[Redacted]
Flushing 55. N. Y.

U. S. A.

VIA AIR MAIL
PAR AVION



Michiko Yoshida

[Redacted]
Kita-ku. Tokyo.

東京都北區田端町105

吉田倫子.